

形式的な避難訓練

準備されたシナリオにそって
手順を確認する。



災害や安全についての知識を活用する工夫
状況に応じた判断力を求める工夫



実践的な避難訓練



※児童生徒等だけでなく教職員の災害対応能力向上も視野に

多様な防災訓練の実施

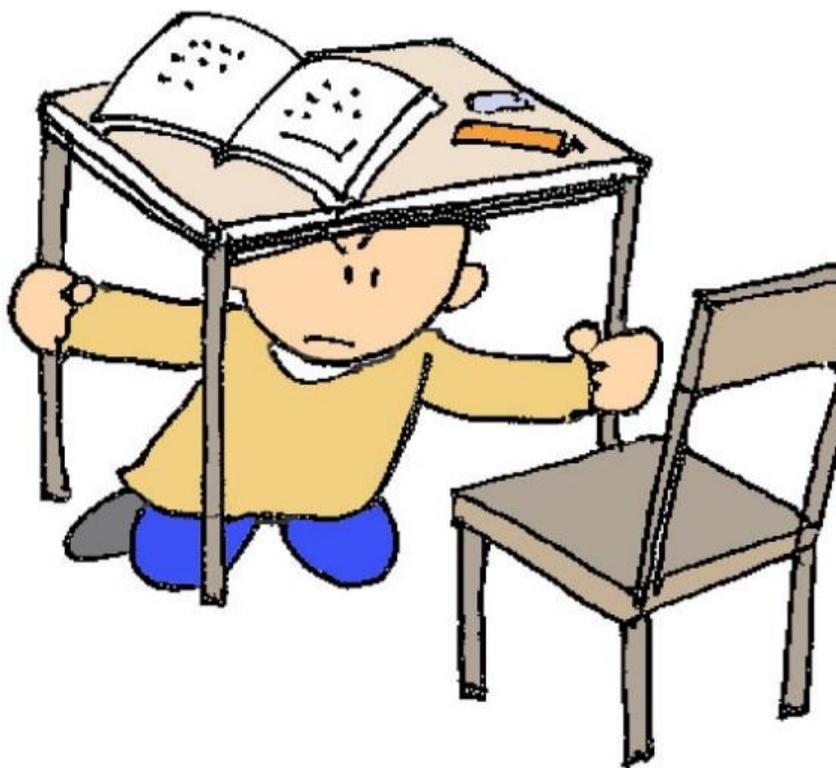
- ▶ 火災以外の災害も想定する
- ▶ 時間を変える
- ▶ 消防士等の専門家を招く
- ▶ 予告の有無
- ▶ 防火扉を使う
- ▶ 引き渡し訓練

かけない



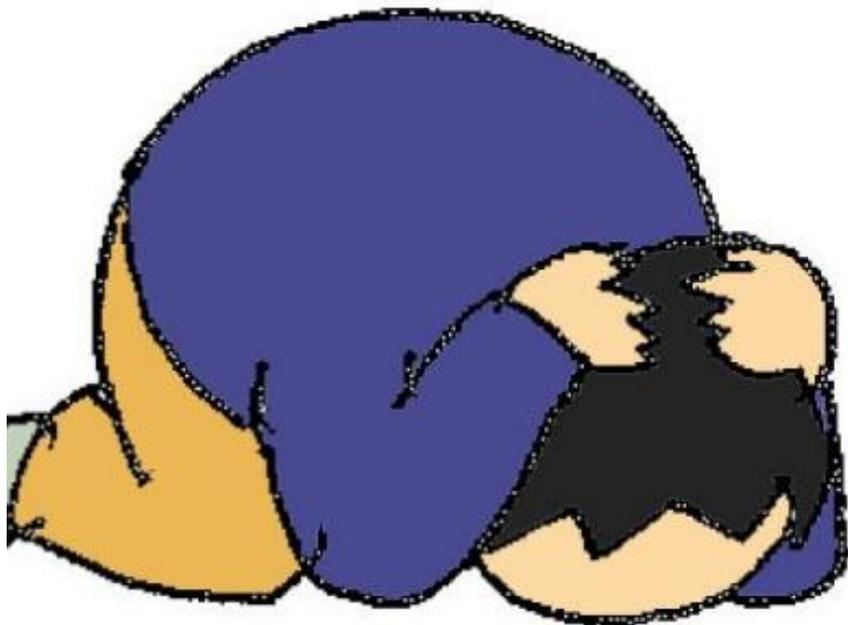
マンネリ化を防ぐ
変化を付けて緊張感を保つ
対応力のアップ
子どもだけでなく職員も

バリエーションその1 火災以外の災害も想定する



- ▶ 火災（出火場所をできるだけ変える）
- ▶ 地震
- ▶ 地震後に火災
- ▶ 津波（特に、沿岸部の学校）
- ▶ 風水害
- ▶ 火山など

バリエーションその2 時間を変える



- ▶ 授業時間中
- ▶ 休み時間中
- ▶ 清掃時間中
- ▶ 部活動中
- ▶ 登下校時など

バリエーションその3

防災士等の専門家を招く

- ▶ はしご車の実演
- ▶ 消火器実演
- ▶ バケツリレー体験
- ▶ 起震車体験
- ▶ 防災クイズ
- ▶ 煙霧体験



バリエーション その4 予告の有無

- ▶ 予告して
- ▶ 子供たちには予告しないで
- ▶ 管理職以外の職員にも予告しないで
- ▶ 週の中のどこかでやると知らせてやるパターン



バリエーション その5 防火扉を使う

防火扉

- ▶ 訓練直前に閉めておく
- ▶ 子供たちには事前指導を
- ▶ 足下に注意
- ▶ 一人ずつしか通れない



バリエーション その6

引き渡し訓練

- ▶ 休日授業参観後に
- ▶ 平日の最終校時に
 - 各教室で
 - 運動場で
 - 住居別地区班教室で



<引き渡し訓練の実施率>

小学校 48.9% 中学校 12.3% 高等学校 1.9%
特別支援学校 27.8%

平成29年度学校安全調査より（熊本市を除く）